

# 活況を呈するメタ・デバイス関連市場

グローバル仮想世界株式戦略ファンド  
愛称:フューチャーメタバース  
追加型投信/内外/株式

- ▶ 本レポートでは、前回のレポート(2023年5月30日配信)以降の当ファンドの基準価額の推移と投資環境についてご説明致します。
- ▶ 加えて、当ファンド主要投資対象のグローバルメタバースファンド(円建て、ヘッジなしクラス)を運用するニューバーガー・バーマンが独自に分類するメタバース関連3分類のひとつ、『メタ・デバイス』における最新のトピックとその関連銘柄についてご紹介致します。

## 基準価額の推移と投資環境について

当ファンドの11月28日の基準価額は12,404円となり、前回レポート配信時(5月30日、10,062円)からの騰落率は+23.3%となりました。(図表1)

この間の投資環境を見ますと、米国では、堅調な労働市場と個人消費を背景に、インフレ収束に伴うリセッションに関して、ソフトランディング(軟着陸)予想からノーランディング(無着陸)予想に変化したことなどから、日米の株価は上昇しました。

特に日本では、主要国との金融政策スタンスの差などから大きく円安が進行し、輸出企業の業績が好調であったことや、インバウンド需要の復活などから株価は二桁の上昇率となりました。

一方で中国では、「ゼロコロナ」政策解除後の景気復調が期待外れに終わったほか、大手不動産企業の相次ぐ債務不履行(デフォルト)など不動産バブル崩壊の後遺症は根強く、株価は大きく下落しました。(図表2)

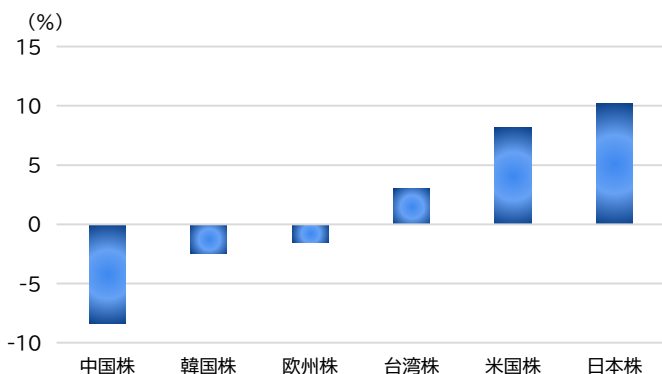
図表1 基準価額の推移

(期間 2023年5月30日~2023年11月28日、日次)



図表2 主要国・地域の株価指数騰落率

(期間 2023年5月29日~2023年11月27日)



※日本株-TOPIX(東証株価指数)、韓国株-韓国総合株価指数、欧州株-ストックス・ヨーロッパ50指数、米国株-S&P500種指数、台湾株-加権指数、中国株-上海/シンセン CSI300指数

(出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込み当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## さらなる市場拡大が見込まれるメタ・デバイス関連市場

## アップル社の技術の集大成

2023年6月5日、米アップル社はAR(拡張現実)ヘッドセット「Apple Vision Pro」(以下、Vision Pro)を発表しました。価格は3,499米ドル(およそ50万円)、発売は2024年初頭に予定されています。

同社のARヘッドセット構想は10年前から始まっており、関連特許は5,000件以上、研究開発費は数百億ドル以上が投入されていると言われています。

過去10年間、多くのAR/VR関連企業の買収(図表3)や、アプリ開発者向けのAR開発キット「ARKit」のリリースなど、Vision Proに向けて下地を整えてきました。

今年発表されたVision Proは10年の歳月をかけたアップルの技術の集大成と言えます。

## 空間コンピュータの登場によりさらなる市場拡大へ

アップル社はVision Proの発表時、同機をAR/VRヘッドセットではなく、新しい“空間コンピュータ”として打ち出しました。Vision Proのデモムービーでは、装着者が従来の据え置き型ディスプレイから解放され、現実世界の空間を自由に使い、4Kテレビや飛び出す3D写真を見たり、様々なアプリケーションを周囲の空間に自由に配置して使用する使い方が紹介されました。

このような一度外界から映像を取り込み、アプリケーションを合成してディスプレイに表示する“ビデオシースルー方式”は多くの最先端技術により可能となりました。Macbookにも搭載されているM2という半導体チップに加えて、Vision Pro向けに新たに開発されたR1という半導体チップが搭載されたほか、マイクロOLEDテクノロジーにより片目に4Kテレビ以上、両目で2,300万画素の超高解像度ディスプレイを搭載しています。

非常に高価なVision Proは、1台売れた時にスマートフォン数台分のインパクトがあり、販売により多くの電子機器サプライヤー、半導体関連企業が恩恵を受けることが見込まれます。

アップル、メタ・プラットフォームズ、ソニーグループといった大手テクノロジー企業からVR/ARヘッドセットが出揃ったことで、さらなる市場拡大とアプリケーションの充実が見込まれます。

\* 上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

図表3 アップルによる主なAR/VR関連企業の買収

年	企業名	国・地域	主な技術
2015	Metaio	ドイツ	ARソフトウェア
2017	SensoMotoric Instruments	ドイツ	視線追跡技術
2018	Camerei	イスラエル	画像認識技術
	Akonia Holographics	米国	ARレンズ開発
2020	NextVR	米国	VRライブストリーミング
	Spaces	米国	VR環境構築
2023	Mira	米国	ARヘッドセット製造

(出所)ニューバナー・バーマン

図表4 各社ヘッドセットの主な特徴

	Apple Vision Pro	Meta Quest 3	PlayStation VR2
価格	3,499米ドル(約50万円)	74,800円(128GB) 96,800円(512GB)	74,980円
ディスプレイ	高画質有機EL	液晶	高画質有機EL
カメラ	12個	4個	4個
センサー	5個	あり	あり
機能	空間コンピュータ 単体	MR機能 単体でも使用可	PlayStation5の拡張 単体での使用不可

(出所)各種資料を基にSBI岡三アセットマネジメント作成

図表5 Vision Pro関連企業一例

<b>エヌビディア</b>
Vision Proを含むAR/VRヘッドセットの普及により3Dアプリの増加が見込まれる。3Dアプリのクラウドコンピューティング需要増加を通じて、データセンター向けGPU需要増加の恩恵を受ける。
<b>ロブロックス</b>
オンラインゲームプラットフォーム「Roblox」を運営。ユーザー自身が仮想空間上にゲーム等を作成することができる。Vision Proを含むAR/VRヘッドセットの普及を通じてユーザー数増加を見込む。
<b>ユニティ・ソフトウェア</b>
Vision Pro発表時にアップルがアプリ開発ではユニティ・ソフトウェアと提携と発表。同社の収益源はアプリ開発環境を使用するためのサブスクリプション収入と、アプリ開発者とのアプリ収入シェアの2つ。2024年のVision Pro発売日まではサブスクリプション増加、Vision Pro発売後はさらにアプリ収入の売上シェア増加を見込む。
<b>ソニーグループ</b>
Vision Proの超高解像度ディスプレイはソニーのマイクロOLEDディスプレイが独占供給されていると報じられており、同社売上への寄与を見込む。

(出所)ニューバナー・バーマン

## &lt;本資料に関してご留意いただきたい事項&gt;

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

# 注目するメタ・デバイス関連銘柄 アップル (業種：情報技術)

## 企業概要

アップルは世界的テクノロジー企業です。iPhoneを中心に、AirPods、Apple Watchといったウェアラブル端末や、Mac、iPadといったパソコンやタブレットの販売のほかに、アプリやストリーミングサービスも展開しています。

特に、iPhoneはスマートフォン市場のマーケットシェアで最大手の一角であり、高価格帯のプレミアムブランド市場ではシェア一位を誇ります。同社は高性能デバイスの開発やブランド力に強みを持ち、高価格帯ハイエンド製品で世界的な販売力を有しています。

## 投資のポイント

同社が2024年初頭の発売を予定しているARヘッドセットVision Proは、その性能の高さにより空間コンピューティングが可能となり、従来のVRヘッドセットの主な使われ方であったゲームや動画視聴に加えて、アップルの既存アプリケーションを含む様々な活用が行われることが期待されます。

Vision ProはVR/ARヘッドセット市場で一定のマーケットシェアを握ると考えられ、iPhone同様にハードウェアを基盤にアプリサービスの展開が見込まれます。

さらに、来年以降の廉価版の投入など長期的なメタバース拡大ポテンシャルを勘案すると、**足下の株価の割安感が強く、投資魅力度が高い**と判断しています。

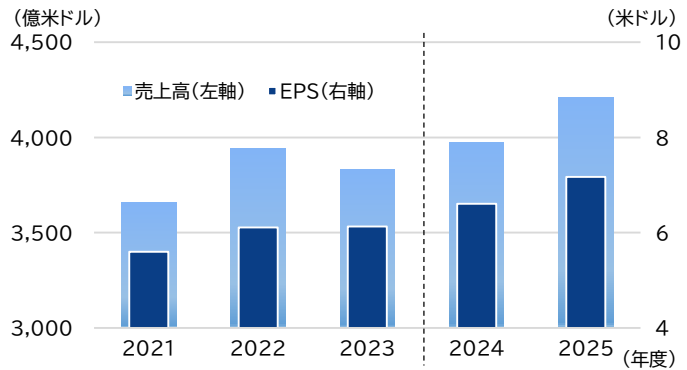
図表6 アップルの株価推移

(期間 2020年1月2日～2023年11月27日、日次)



図表7 アップルの売上高とEPS(1株当たり利益)の推移

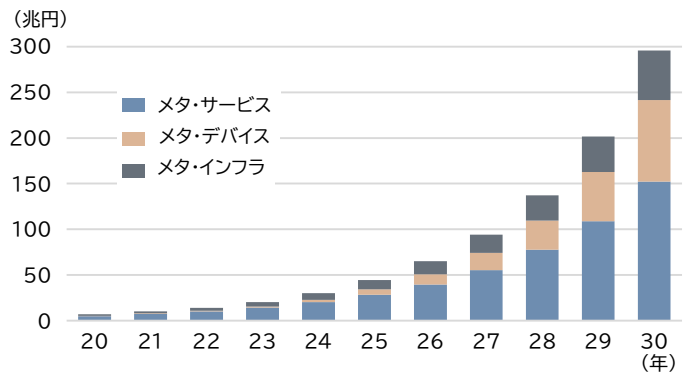
(期間 2021年度～2025年度、年次、予想を含む)



※2024年度以降は予想  
※アップルの決算期末は9月

図表8 メタバース関連市場規模の予測

(期間 2020年～2030年、年次、予想を含む)



※2020年実績値。2021年以降はニューバーガー・バーマンによる2021年12月末時点の予測  
※為替は2023年11月28日時点のレート(1米ドル=147.5円)で円換算

\* 上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保證するものではありません。

(図表6～8の出所) ニューバーガー・バーマン、Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保證するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保證するものではありません。■購入の申込み当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 留意事項

## 【SBI岡三アセットマネジメントについて】

商号:SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

## 【投資リスク】

- 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
  - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては、「カントリーリスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

## 【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
  - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
  - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
  - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
  - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込の受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

## 【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
  - 購入時手数料 : 購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3%(税抜3.0%)  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
  - 換金手数料 : ありません。
  - 信託財産留保額 : ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
    - 運用管理費用(信託報酬)
      - : 純資産総額×年率1.298%(税抜1.18%)
    - 運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
      - : 純資産総額×年率1.948%程度

実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
  - その他費用・手数料
    - 監査費用 : 純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)
  - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

## グローバル仮想世界株式戦略ファンド(愛称 フューチャーメタバース)

## 販売会社一覧

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

(2023年11月30日現在)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
JIA証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			○
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
武甲証券株式会社	関東財務局長(金商)第154号	○			
<b>(登録金融機関)</b>					
株式会社仙台銀行	東北財務局長(登金)第16号	○			

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)